

1. 東京2025デフリンピックについて

正式名称：第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025
参加国：70～80か国・地域 参加選手：約3,000人

大会期間：令和7年11月15日(土)～26日(水)
競技数：21競技 (12日間)

2. 来訪選手紹介

【柔道(男子)-60kg級】

吉良 暁生 選手 (44歳)
(きら あきお)

1981(昭和56)年3月22日生まれ
市内在住 八千代特別支援学校 勤務

・第22回夏季デフリンピック競技大会
ソフィア2013(ブルガリア)

柔道(男子)-60kg級 銀メダル

・第1回アジアろう者柔道選手権大会(令和5年)
柔道(男子)-60kg級 銀メダル

☆大会への意気込み☆

12年前にデフリンピックに出場して以来、2回目の出場になります。
前回は銀メダルで悔しい思いをしたので、12年越しのリベンジを果たしたいと思います。

さらに今回は開催国が日本ということもあり、みなさんに感動と勇気を与えられるような熱い試合を届けますので、ぜひ、応援のほどよろしくお願い致します。



写真：吉良選手提供

【東京2025デフリンピック 競技日程】

11月16日(日) 東京武道館

【バスケットボール(女子)】

榎本 愛美 選手 (15歳)
(えのもと まなみ)

2010(平成22)年9月8日生まれ
市内在住 中学3年生
筑波大学付属聴覚特別支援学校 在学中

・日本デフバスケットボール協会
女子日本代表強化指定選手

・クラブチーム「ブルーペブルズ」所属

※第53回千葉県U15中学生バスケットボール選手権
大会(令和7年) 女子 優勝チーム

☆大会への意気込み☆

デフリンピックという夢の舞台に、リザーブ選手として関わることができてとても嬉しいです。

代表としての自覚を持って、いつでもコートに立てるよう準備しています。
チームを支え、自分自身も成長できるよう、最後まで全力で頑張ります。
デフバスケの面白さを、もっと多くの人に伝えたいです。



写真：榎本選手提供
手話は「デフリンピック」を意味

【東京2025デフリンピック 競技日程】

11月16日(日)～25日(火) 大田区総合体育館